

5 月 7 日 ブーゲンビルーソロモン諸島の地震

2015 年 5 月 7 日 16 時 10 分（日本時間、以下同じ）に、ブーゲンビルーソロモン諸島の深さ 23km で Mw7.0 の地震が発生した。この地震は、インド・オーストラリアプレートが太平洋プレートに沈み込む手前のアウターライズで発生した。発震機構は（気象庁による CMT 解）は北東-南西方向に張力軸を持ち、アウターライズでよく見られる正断層型である。

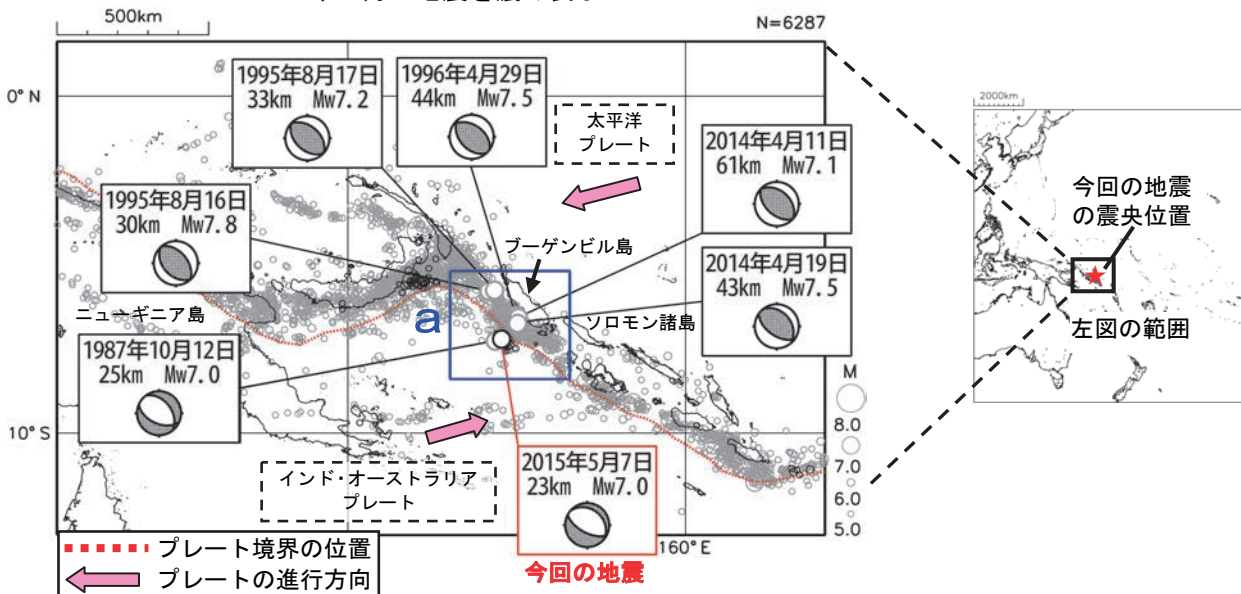
今回の地震の震央と海溝軸を挟んだ反対側で、2014 年 4 月 11 日、19 日にそれぞれ Mw7.1、Mw7.5 の地震が発生している。

1980 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、1995 年 8 月 16 日に Mw7.8 の地震が発生するなど、M7.0 以上の地震が時々発生している。

なお、気象庁は同日 16 時 40 分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。

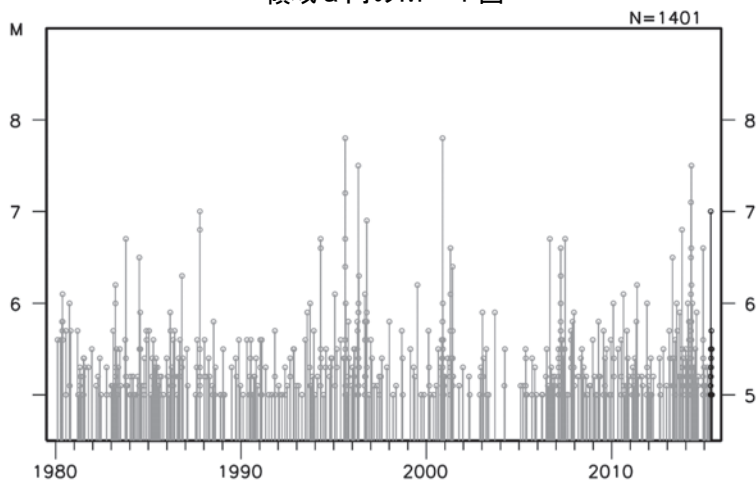
震央分布図

（1980 年 1 月 1 日～2015 年 5 月 31 日、深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$ ）
2015 年 5 月の地震を濃く表示



プレートの進行方向は、インド・オーストラリアプレートと太平洋プレートをそれぞれ固定した場合の相対的な方向である。

領域 a 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震及び 2009 年以降の地震の発震機構と Mw は気象庁による。その他の地震の発震機構と Mw は GlobalCMT による。震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2015 年 6 月 1 日現在)。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。
* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.